

世界にふれる 自分が広がる

市内在住の中学生が韓国密陽市と台湾新店区を訪問しました。

この事業は、青少年の国際感覚を育むことを目的に取り組んでいます。それぞれの国の文化や暮らしを体験した皆さんの感想の一部を紹介します。

■密陽市訪問

(7月20日～23日)

研修内容

- 進路体験館プログラム体験
- 密陽市役所訪問
- ソンビ文化体験館 など

密陽市 (韓国)

面積 799 km²

人口 約10万人

特産品 エゴマの葉、リンゴ、イチゴ、唐辛子、ナツメ

韓国の東南に位置する都市。安来市とは平成2年に姉妹都市に。



▲「ソンビ文化体験館」で交流先の中学生と染物体験。



▲韓国三大楼閣に数えられる国宝「嶺南楼」を見学。

第一中学校3年

池田朱花さん



韓国の中学生と、お互いの学校生活や趣味について話しました。言葉が完璧に話せなくても、相手と仲良くなろうという気持ちがあれば伝わることを実感しました。

第一中学校3年

二岡百花さん



文化の違いについて知ることができました。韓国に行ったことで新たな価値観に出会い、同時に日本の良さを再確認することができました。

第一中学校2年

米田圭織さん



韓国語でのスピーチや交流は緊張しましたが、みんながたくさん話しかけてくれてうれしかったです。進路教育があることに驚きました。

第二中学校2年

永江初音さん



韓国の中学生と交流し、別れが惜しいと思うほど仲良くなることができました。この経験を大切に、初めて会う人や外国人とも積極的に交流したいと思います。

広瀬中学校3年

宇山あおいさん



この交流を通して、コミュニケーションは言語が全てじゃないと思うようになりました。最終日には、あつという間違ったと思えるほど楽しむことができました。

伯太中学校2年

山尾咲智さん



密陽市の学生と互いの言葉を教え合ったり、とても楽しく仲を深めることができました。日本とは少し違う文化や街の空気、新鮮でとても楽しかったです。



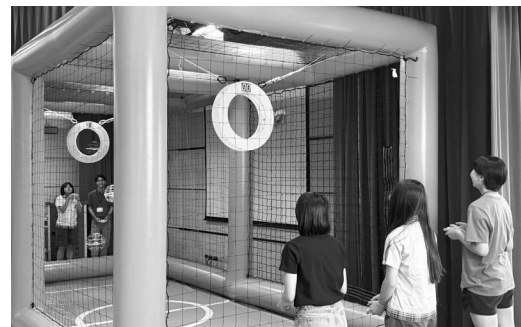
▲現地の中中学生や先生のガイドのもと「十份」や「九份」を見学。

新北市新店区（台湾）
面積 120km²
人口 約30万人
特産品 バナナ、ミカン、パイナップルなど
台湾北部（台北市の南）に位置する都市。
安来市とは令和5年に友好都市交流に。

- 新店区訪問**
（7月31日～8月3日）
研修内容
- 磁気スイッチライト制作体験
 - 文化・デジタル体験
 - スポーツ交流 など



▲磁石に反応して光るスイッチライトの制作体験。初めてののはんだ付けに苦戦しました。



▲ドローンサッカーを体験。訪問先の達観国民小中学校にはドローンクラブがあります。



第二中学校3年
佐伯紗和さん

台湾の中学生との英語力の差に驚きましたが、日本との共通点も多く見つけられました。今回の研修で、英語の大切さ、挑戦してみる大切さを学びました。



広瀬中学校3年
岩田ひまりさん

行く前のイメージと違い、台湾はとても優しくいい国だったのでも、また行きたいと思いました。この研修での経験をみんなに話して広めたいと思います。



広瀬中学校3年
福田遥人さん

台湾の中学生と一緒に活動するのは楽しく、夕食では自分たちの席に呼んでくれて、LINEも交換しました。日本に帰ってからもうやりとりが続いていきます。



第一中学校3年
三好敦延さん

なんとなく日本と似ているというイメージのあった台湾で実際に過ごし、そこで暮らす人たちと関わることで、その輪郭が前よりはっきりと感じられました。



第一中学校3年
門脇くるみさん

台湾の中学生と交流し、国や言葉が違っても仲良くなれることを実感しました。観光だけでなく、人との交流を通して異なる文化を知ることができました。



第一中学校3年
原綾姫さん

行く前は台湾について知らないことが多く、少し怖いイメージもありました。しかし、自分の目で見て、現地の子と関わってみると、みんな優しい人ばかりでした。